

# 2022年3月期 決算の概要

2022年 5月 13日



- かんぽ生命の伊牟田でございます。
- 本日は、かんぽ生命の「2022年3月期 決算 電話会議」にご参加いただき、ありがとうございます。
- はじめに、お手元の資料に沿って、決算概要をご説明し、その後、質疑応答とさせていただきます。
- なお、各指標の増減の理由については、主要なものを述べていますので、ご留意願います。
- 1ページをご覧ください。

## 決算サマリー

|                | 22年3月期              | 前年同期(末)比                |                                                                                                                                         |
|----------------|---------------------|-------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 経常利益           | 3,561億円             | + 103 億円<br>(+ 3.0 %)   | 【連結業績の状況】(P3参照)<br>▶ 新契約が想定を下回ったことなどにより、保有契約が大きく減少したものの、事業費が減少し、加えて、順ざやが増加<br>▶ 上記の結果、経常利益は前年同期比3.0%増加、当期純利益は前年同期比4.8%減少と、前年度と同水準の利益を計上 |
| 当期純利益          | 1,580億円             | △ 80 億円<br>(△ 4.8 %)    |                                                                                                                                         |
| 新契約<br>年換算保険料  | (個人保険)<br>461億円     | + 155 億円<br>(+ 50.7 %)  | 【契約の状況】(P4参照)<br>▶ 2022年3月期の個人保険の新契約年換算保険料は、前年同期比50.7%増加したものの、募集品質問題発生前の2019年3月期対比では△ 86.9%と大きく減少                                       |
|                | (第三分野)<br>21億円      | + 7 億円<br>(+ 49.0 %)    |                                                                                                                                         |
| 保有契約<br>年換算保険料 | (個人保険)<br>3兆5,389億円 | △ 3,591 億円<br>(△ 9.2 %) | 【EVの状況】(P10参照)<br>▶ 2021年5月に実施した自己株式の取得(3,588億円)に伴う純資産の減少および、外国金利上昇に伴う外国債券の含み益の減少等により、前年度末比10.1%減少                                      |
|                | (第三分野)<br>6,270億円   | △ 420 億円<br>(△ 6.3 %)   |                                                                                                                                         |
| EV             | 3兆6,189億円           | △ 4,072億円<br>(△ 10.1 %) |                                                                                                                                         |

- 今回の決算のポイントはご覧のとおりです。
- 新契約が想定を下回ったことなどにより、保有契約が大きく減少したものの、事業費が減少し、加えて、順ざやが増加した結果、経常利益は前年同期比3.0%増の3,561億円、当期純利益は前年同期比4.8%減の1,580億円と、前年度と同水準の利益となりました。
- 2022年3月期における個人保険の新契約年換算保険料は、前年同期比50.7%増の461億円となりましたが、募集品質問題発生前の2019年3月期対比ではマイナス86.9%と大きく減少しております。
- EVは2021年5月に実施しました自己株式の取得に伴う純資産の減少および、外国金利上昇に伴う外国債券の含み益の減少等により、前期末から10.1%減少し、3兆6,189億円となりました。
- なお、本日時点では、第三者意見を取得していないため、速報版の開示となります。EVの詳細は、5月25日公表予定の「2022年3月末ヨーロッパ・エンベディッド・バリューの開示について」をご覧ください。
- 2ページをご覧ください。

## 22年3月期の業績（前年同期比）

### 連結損益計算書（要約）

（億円）

|                         | 21.3期  | 22.3期  | 増減額     |
|-------------------------|--------|--------|---------|
| 経常収益                    | 67,862 | 64,542 | △ 3,320 |
| 保険料等収入                  | 26,979 | 24,189 | △ 2,789 |
| 資産運用収益                  | 11,216 | 11,491 | 274     |
| 責任準備金戻入額                | 28,954 | 28,642 | △ 311   |
| 経常費用                    | 64,404 | 60,980 | △ 3,423 |
| 保険金等支払金                 | 58,660 | 55,493 | △ 3,167 |
| 資産運用費用                  | 708    | 697    | △ 10    |
| 事業費等 <sup>1</sup>       | 5,035  | 4,790  | △ 245   |
| 経常利益                    | 3,457  | 3,561  | 103     |
| 特別損益                    | △ 467  | △ 624  | △ 156   |
| 価格変動準備金繰入額 <sup>2</sup> | △ 464  | △ 677  | △ 213   |
| 契約者配当準備金繰入額             | 654    | 731    | 76      |
| 法人税等合計                  | 674    | 625    | △ 49    |
| 親会社株主に帰属する<br>当期純利益     | 1,661  | 1,580  | △ 80    |

注：主な勘定科目を掲載

1. 事業費とその他経常費用の合計
2. 符号がプラスの場合は戻入を、マイナス（△）の場合は繰入を示す



### 単体 経常利益の明細（要約）

（億円）

|         | 21.3期 | 22.3期 | 増減額   |
|---------|-------|-------|-------|
| 基礎利益    | 4,219 | 4,371 | 151   |
| 保険関係損益  | 3,456 | 2,964 | △ 492 |
| 順ざや     | 763   | 1,407 | 643   |
| キャピタル損益 | △ 171 | △ 17  | 153   |
| 臨時損益    | △ 598 | △ 796 | △ 198 |
| 経常利益    | 3,450 | 3,557 | 107   |

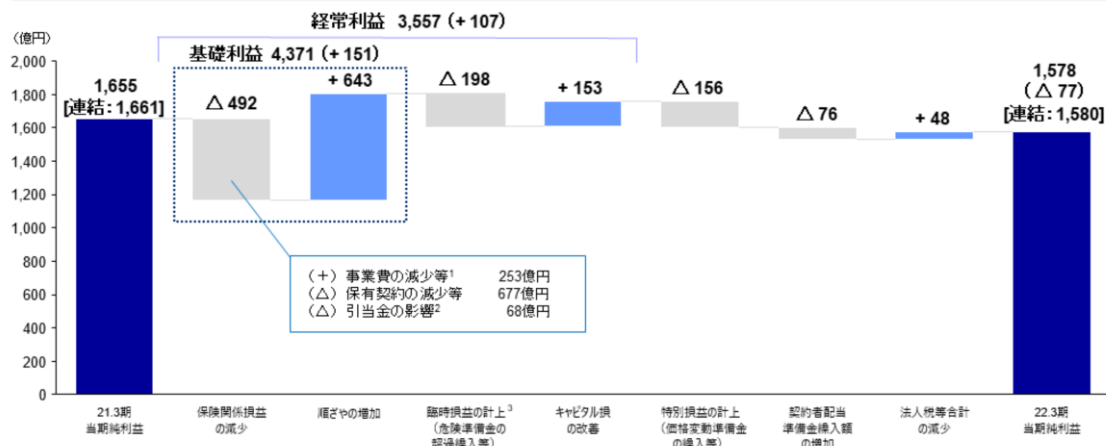
Copyright© JAPAN POST INSURANCE All Rights Reserved.

2

- 今期の業績の状況はご覧のとおりです。
- 変動要因について、次のページでご説明いたします。
- 3ページをご覧ください。

## 22年3月期の業績（前年同期からの変動要因：単体ベース）

- 保有契約の減少等に伴い保険関係損益が減少した一方で、順ざやが増加したため、基礎利益は前年同期を上回る4,371億円となった。
- 危険準備金の超過繰入の増加に伴い臨時損益が減少したものの、キャピタル損の改善により、経常利益は3,557億円となった。
- キャピタル損益に対しては、その相当額の価格変動準備金を繰り入れる、または取り崩す会計処理を継続して実施していることから、当期純利益は前年同期を下回る1,578億円となった。

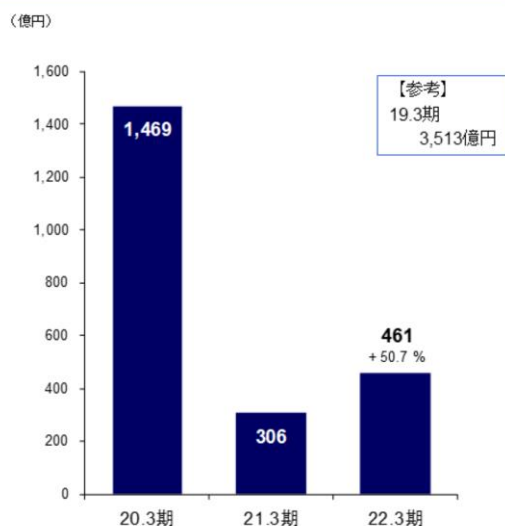


1. 事業費の減少等については、損益計算書における事業費とその他経常費用の合計につき、前年同期との数値の差分を計算したもの。ただし、保険金等支払引当金等の影響は、「引当金の影響」の項目に調整している
2. 此契約調査等におけるお客さま対応の実績等を見直しに反映したことによる、保険金等支払引当金の戻入/繰入等の保険関係損益への影響額。21.3期における保険金等支払引当金等の影響を加味している (22.3期: △15億円、21.3期: 52億円)
3. 旧区分において2021年3月末に危険準備金を財源とした追加責任準備金の積立を実施。これに伴い、2021年3月末以降危険準備金の積立水準の回復を図るための差額額を超える繰入れを実施

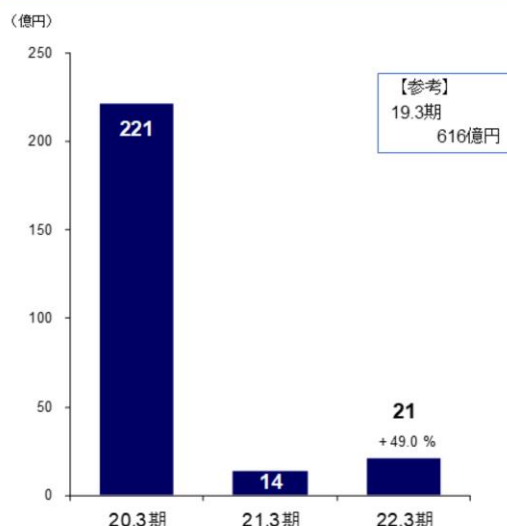
- ここでは、2022年3月期の業績の変動要因を記載しています。
- 保有契約の減少等に伴い保険関係損益が減少した一方で、順ざやが増加したため、基礎利益は前年同期を上回る4,371億円となりました。
- 危険準備金の超過繰入の増加に伴い臨時損益が減少したものの、キャピタル損の改善により、単体ベースでの経常利益は3,557億円となりました。
- キャピタル損益については価格変動準備金と相殺されるため、単体ベースでの当期純利益は1,578億円となりました。
- 4ページをご覧ください。

## 契約の状況〔新契約年換算保険料〕

新契約年換算保険料（個人保険）の推移



新契約年換算保険料（第三分野）の推移

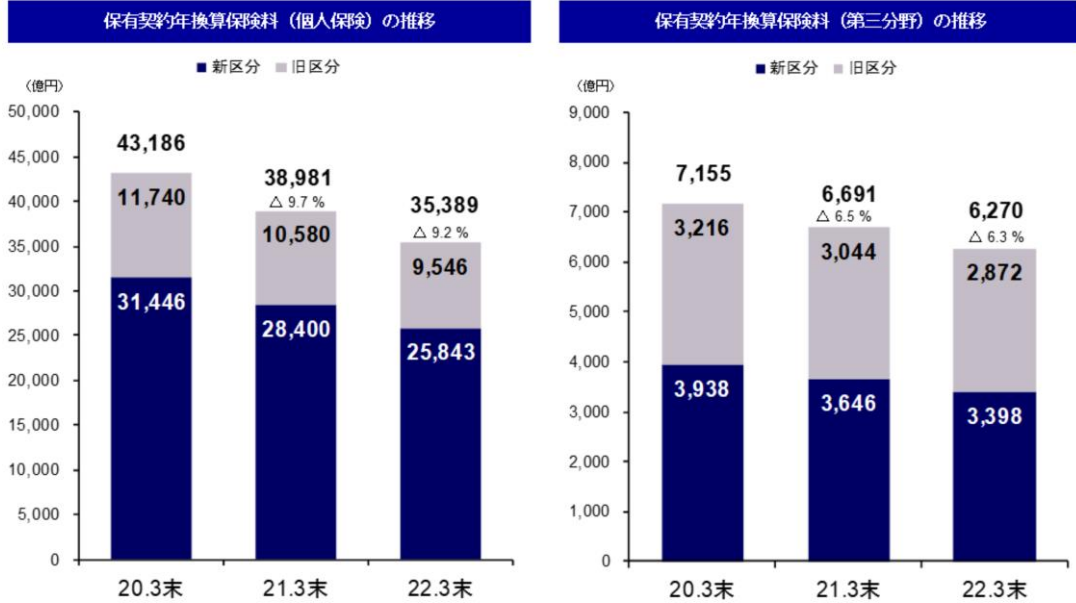


注1: 年換算保険料とは、1回当たりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年当たりの保険料に換算した金額(一時払契約等は、保険料を保険期間等で除した金額)  
 第三分野は医療保険・生計給付保障等に該当する部分。年換算保険料(個人保険)には、個人保険に係る第三分野を含む

注2: 20.3期および21.3期の実績は2019年7月中旬以降の積極的な営業活動の自粛および2020年1月～3月の業務停止による影響を含む

- ここからは、契約の状況についてご説明します。
- 個人保険の新契約年換算保険料は、前年同期比50.7%増の461億円、第三分野の新契約年換算保険料は、前年同期比49.0%増の21億円となりましたが、いずれも募集品質問題発生前の2019年3月期対比では大きく減少しております。
- 5ページをご覧ください。

## 契約の状況〔保有契約年換算保険料〕



注：「新区分」は、当社が引き受けた個人保険を示し、「旧区分」は、当社が独立行政法人郵便貯金簡易生命保険管理・郵便局ネットワーク支援機構から受再している簡易生命保険契約（個人保険は簡易生命保険契約の保険に限る）を示す

- 個人保険の保有契約年換算保険料は3兆5,389億円となり、前期末から9.2%減少しました。
- 第三分野の保有契約年換算保険料は6,270億円となり、前期末から6.3%減少しました。
- 6ページをご覧ください。

## 資産運用の状況〔資産構成〕

| 資産構成                |         |        |         |        |          |
|---------------------|---------|--------|---------|--------|----------|
|                     | 21.3末   |        | 22.3末   |        | 増減額      |
|                     | 金額      | 占率     | 金額      | 占率     |          |
|                     | (億円)    |        |         |        |          |
| 公社債                 | 480,882 | 68.5%  | 465,635 | 69.3%  | △ 15,246 |
| 国債                  | 373,456 | 53.2%  | 374,089 | 55.7%  | 633      |
| 地方債                 | 55,839  | 8.0%   | 44,626  | 6.6%   | △ 11,212 |
| 社債                  | 51,585  | 7.4%   | 46,918  | 7.0%   | △ 4,666  |
| 収益追求資産 <sup>1</sup> | 111,812 | 15.9%  | 112,283 | 16.7%  | 471      |
| 国内株式 <sup>2</sup>   | 25,142  | 3.6%   | 26,145  | 3.9%   | 1,002    |
| 外国株式 <sup>2</sup>   | 4,895   | 0.7%   | 5,861   | 0.9%   | 966      |
| 外国債券 <sup>2</sup>   | 66,067  | 9.4%   | 62,799  | 9.3%   | △ 3,268  |
| その他 <sup>3</sup>    | 15,706  | 2.2%   | 17,477  | 2.6%   | 1,770    |
| 賞付金                 | 49,640  | 7.1%   | 42,519  | 6.3%   | △ 7,121  |
| その他                 | 59,394  | 8.5%   | 51,309  | 7.6%   | △ 8,085  |
| うち現預金・コールロン         | 14,650  | 2.1%   | 13,107  | 2.0%   | △ 1,542  |
| うち買戻先勘定             | -       | -      | 21,201  | 3.2%   | 21,201   |
| うち債券貸借取引<br>支払保証金   | 25,850  | 3.7%   | -       | -      | △ 25,850 |
| 総資産                 | 701,729 | 100.0% | 671,747 | 100.0% | △ 29,981 |

1. 収益追求資産は、貸借対照表上「金銭の信託」および「有価証券」に計上している資産のうち、資産運用目的で保有する国内外の株式、外貨建債券、投資信託等を対象としている
2. 「国内株式」、「外国株式」および「外国債券」には、個別銘柄の株式・債券のほか、それぞれの資産のみを投資対象とする投資信託を含む
3. バンクローン、マルチアセット、不動産ファンド、プライベート・エクイティ、インフラ・エクイティ等

| 順ざや・利回り             |       |       |
|---------------------|-------|-------|
|                     | 21.3期 | 22.3期 |
| 順ざや                 | 763   | 1,407 |
| 平均予定利率 <sup>1</sup> | 1.69% | 1.68% |
| 利子利回り <sup>2</sup>  | 1.82% | 1.94% |

|               | 21.3期 | 22.3期 |
|---------------|-------|-------|
| キャピタル損益       | △ 171 | △ 17  |
| うち為替に係るヘッジコスト | △ 199 | △ 73  |

1. 平均予定利率は、予定利息の一般勘定超過責任準備金に対する利回り
2. 利子利回りは、基礎利益上の運用収支等の一般勘定超過責任準備金に対する利回り

| デュレーション |       |       |
|---------|-------|-------|
|         | 21.3末 | 22.3末 |
| 資産      | 10.4  | 10.5  |
| 負債      | 13.4  | 12.7  |
| 差       | 3.0   | 2.2   |

注：個人保険・個人年金に係る保険負債と円金利資産の会計上のデュレーション

- 資産運用の状況についてご説明します。
- 当社の資産運用は、円金利資産と円金利負債のマッチングを図るALMの観点から、公社債が中心となっています。
- 左の表のとおり、昨今の超低金利環境の継続を受け、運用資産の多様化を進めてきた結果、株式・外国債券などの収益追求資産の残高は11兆2,283億円、総資産比で16.7%となりました。
- 右の表のとおり、平均予定利率は、1.68%となりました。また、利子利回りは1.94%となり、1,407億円の順ざやを確保しました。
- キャピタル損益は、為替変動リスクのヘッジに伴う金融派生商品費用の減少に加えて、為替差益の増加等により、前年同期から153億円の改善となる17億円のキャピタル損となりました。
- 7ページをご覧ください。

## 資産運用の状況〔有価証券の時価情報〕

### 有価証券の時価情報

(億円)

|                   | 21.3末   |         |        | 22.3末   |         |        | 増減額      |          |          |
|-------------------|---------|---------|--------|---------|---------|--------|----------|----------|----------|
|                   | 帳簿価額    | 時価      | 差損益    | 帳簿価額    | 時価      | 差損益    | 帳簿価額     | 時価       | 差損益      |
| 合計                | 582,853 | 656,662 | 73,809 | 565,009 | 621,734 | 56,724 | △ 17,843 | △ 34,928 | △ 17,084 |
| 満期保有目的の債券         | 353,279 | 405,129 | 51,849 | 341,262 | 381,431 | 40,169 | △ 12,017 | △ 23,697 | △ 11,679 |
| 責任準備金対応債券         | 93,824  | 101,585 | 7,761  | 86,047  | 91,060  | 5,012  | △ 7,777  | △ 10,525 | △ 2,748  |
| その他有価証券           | 135,748 | 149,947 | 14,198 | 137,699 | 149,242 | 11,542 | 1,950    | △ 705    | △ 2,656  |
| 有価証券等             | 107,981 | 112,978 | 4,997  | 109,762 | 111,037 | 1,275  | 1,780    | △ 1,940  | △ 3,721  |
| 公社債               | 35,191  | 35,540  | 348    | 40,437  | 40,169  | △ 267  | 5,245    | 4,629    | △ 616    |
| 国内株式              | 3,228   | 3,988   | 760    | 3,577   | 4,198   | 620    | 349      | 209      | △ 140    |
| 外国証券              | 42,901  | 46,323  | 3,422  | 42,470  | 43,325  | 854    | △ 430    | △ 2,998  | △ 2,568  |
| その他の証券            | 19,108  | 19,558  | 449    | 18,842  | 18,899  | 57     | △ 266    | △ 658    | △ 392    |
| 預金等               | 7,551   | 7,567   | 15     | 4,433   | 4,445   | 11     | △ 3,117  | △ 3,122  | △ 4      |
| 金銭の信託             | 27,767  | 36,969  | 9,201  | 27,937  | 38,204  | 10,266 | 169      | 1,235    | 1,065    |
| 国内株式 <sup>1</sup> | 14,315  | 21,154  | 6,839  | 14,957  | 21,947  | 6,990  | 642      | 793      | 150      |
| 外国株式 <sup>1</sup> | 3,033   | 4,895   | 1,861  | 3,119   | 5,861   | 2,742  | 85       | 966      | 880      |
| 外国債券 <sup>1</sup> | 7,427   | 7,799   | 372    | 7,000   | 7,420   | 420    | △ 427    | △ 379    | 48       |
| その他 <sup>2</sup>  | 2,991   | 3,119   | 128    | 2,860   | 2,974   | 114    | △ 130    | △ 144    | △ 14     |

注：本表には、時価のある有価証券のみを記載。また、金融商品取引法上の有価証券として取り扱うことが適当と認められるもの等を含む

1. 「国内株式」、「外国株式」および「外国債券」には、個別銘柄の株式・債券のほか、それぞれの資産のみを投資対象とする投資信託を含む
2. 現預金、バンクローン、不動産ファンド



Copyright© JAPAN POST INSURANCE All Rights Reserved.

7

- 有価証券の時価および含み損益の状況をお示ししています。
- 今期は、2021年3月末と比較して、国内外の金利が上昇したものの、会計上、時価評価されるその他有価証券の差損益は、1兆1,542億円の含み益を計上しております。
- 8ページをご覧ください。



## 事業費等の状況

### 事業費等の状況

(億円)

|                    | 21.3期 | 22.3期 | 増減額   |
|--------------------|-------|-------|-------|
| 事業費                | 4,030 | 3,859 | △ 171 |
| 委託手数料 <sup>1</sup> | 1,981 | 1,786 | △ 194 |
| 新契約手数料             | 422   | 307   | △ 115 |
| 維持・集金手数料           | 1,558 | 1,479 | △ 79  |
| 拠出金 <sup>2</sup>   | 560   | 540   | △ 20  |
| その他                | 1,488 | 1,532 | 44    |
| その他経常費用            | 1,004 | 930   | △ 74  |
| うち減価償却費            | 593   | 545   | △ 48  |
| 事業費等               | 5,035 | 4,790 | △ 245 |

1. 日本郵便株式会社に対する委託手数料

2. 独立行政法人郵便貯金簡易生命保険管理・郵便局ネットワーク支援機構法に基づき、郵便貯金簡易生命保険管理・郵便局ネットワーク支援機構に支払う拠出金



Copyright© JAPAN POST INSURANCE All Rights Reserved.

8

- 事業費等の状況についてご説明します。
- 事業費は、3,859億円となり、このうち、約6割程度を日本郵便へ支払う委託手数料および郵便貯金簡易生命保険管理・郵便局ネットワーク支援機構に支払う拠出金が占めています。
- 委託手数料は、契約獲得実績に応じて支払う新契約手数料と、保全・支払業務等に応じて支払う維持・集金手数料で構成されています。
- 委託手数料は、前年同期比194億円減の1,786億円となりました。
- 拠出金を含めた総額は、前年同期比215億円減の2,326億円となりました。
- また、減価償却費は、前年同期比48億円減の545億円となりました。
- 9ページをご覧ください。

## 健全性の状況

### 内部留保等の積立状況

(億円)

|                  | 21.3末  | 22.3末  | 当期<br>繰入額 |
|------------------|--------|--------|-----------|
| 危険準備金            | 16,113 | 16,909 | 796       |
| 旧区分 <sup>1</sup> | 11,296 | 12,032 | 735       |
| 新区分              | 4,816  | 4,877  | 60        |
| 価格変動準備金          | 9,048  | 9,726  | 677       |
| 旧区分              | 6,551  | 6,951  | 400       |
| 新区分              | 2,497  | 2,774  | 277       |
| 追加責任準備金          | 58,580 | 56,186 | △ 2,393   |
| 旧区分 <sup>1</sup> | 58,508 | 56,138 | △ 2,369   |
| 新区分              | 71     | 48     | △ 23      |

### 連結ソルベンシー・マージン比率

(億円)

|                 | 21.3末     | 22.3末     |
|-----------------|-----------|-----------|
| 連結ソルベンシー・マージン比率 | 1,121.2 % | 1,045.5 % |
| ソルベンシー・マージン総額   | 62,162    | 58,585    |
| リスクの合計額         | 11,087    | 11,206    |

注: 「旧区分」は簡易生命保険契約区分を源泉とする金額、「新区分」はかんぽ生命全体から「旧区分」を差し引いた金額

1. 旧区分において2021年3月末に危険準備金を財源とした追加責任準備金の積立を実施。これに伴い、2021年3月末以降危険準備金の積立水準の回復を図るための基準額を超える繰入れを実施

- 健全性の状況についてご説明します。
- 経営環境の変化に伴うリスクに備え、将来にわたり健全で安定的な経営を確保するため、危険準備金1兆6,909億円、価格変動準備金9,726億円を積み立てています。
- 将来の逆ざや等を補う目的で積み立てている追加責任準備金は、5兆6,186億円となっています。
- 連結ソルベンシー・マージン比率は1,045.5%と、引き続き高い健全性を維持しています。
- 10ページをご覧ください。

## EVの状況

### EV

| (億円)   |        |                    |                    |
|--------|--------|--------------------|--------------------|
|        | 21.3末  | 22.3末 <sup>1</sup> | 増減額<br>(前期末比)      |
| EV     | 40,262 | 36,189             | △4,072<br>(△10.1%) |
| 修正純資産  | 23,768 | 20,927             | △2,840<br>(△12.0%) |
| 保有契約価値 | 16,493 | 15,261             | △1,231<br>(△7.5%)  |

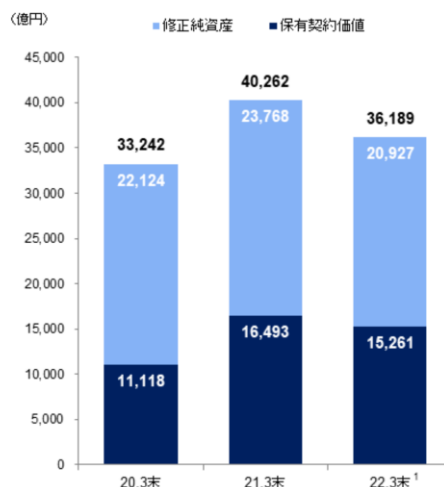
### 新契約価値

22.3期の新契約価値<sup>1,2</sup>      △115億円  
 新契約マージン<sup>1,2,3</sup>      △3.2%

- 新契約獲得にはその多寡によらない一定の事業費等が必要となるため、新契約価値はマイナスになっている

1. 第三者の検証を受けていない試算値。第三者の検証を受けたEVの詳細については、2022年5月2日公表予定
2. 2021年4月から2022年3月までの新契約をベースに2021年12月末の経済前提を使用。条件付解約および転換による価値の増減分を含む
3. 新契約価値を将来の保険料収入の現在価値で換したるもの

### EVの推移



- EVの状況についてご説明します。
- 当期末のEVは3兆6,189億円となり、前期末から4,072億円減少しました。
- 修正純資産は、純利益による増加はあったものの、株主配当や2021年5月に実施しました自己株式の取得により、前期末比2,840億円減の2兆927億円となりました。
- 保有契約価値は、外国金利上昇に伴う外国債券の含み益の減少等により、前期末比1,231億円減の1兆5,261億円となりました。
- 当期の新契約価値は、2021年4月から2022年3月の金利水準の平均に近い、2021年12月末の経済前提を用いて算出しております。
- 新契約価値は、新契約獲得にはその多寡によらない一定の事業費等が必要となるため、マイナス115億円となりました。また、新契約マージンはマイナス3.2%となりました。
- なお、本日時点では、第三者意見を取得していないため、速報版の開示となります。EVの詳細は、5月25日公表予定の「2022年3月末ヨーロッパ・エンベディッド・バリューの開示について」をご覧ください。
- 11ページをご覧ください。

## 23年3月期 業績予想

- 23年3月期の経常利益および当期純利益は、新しいかんぽ営業体制における日本郵便からのコンサルタントの受け入れおよび事業運営の定常化に伴う事業費の増加などにより、大きく減少を見込む。
- 新しいかんぽ営業体制の下、新契約の回復を通じた保有契約の確保を目指す。

### 連結業績予想

(億円)

|                    | 22.3期<br>(修正後予想) | 22.3期  | 達成率    | 23.3期<br>(予想) |
|--------------------|------------------|--------|--------|---------------|
| 経常収益               | 64,100           | 64,542 | 100.7% | 62,200        |
| 経常利益               | 3,600            | 3,561  | 98.9%  | 1,600         |
| 当期純利益 <sup>1</sup> | 1,540            | 1,580  | 102.6% | 710           |

|            |          |          |          |
|------------|----------|----------|----------|
| 1株当たり当期純利益 | 365.49 円 | 375.14 円 | 177.70 円 |
|------------|----------|----------|----------|

### 単体業績予想

(億円)

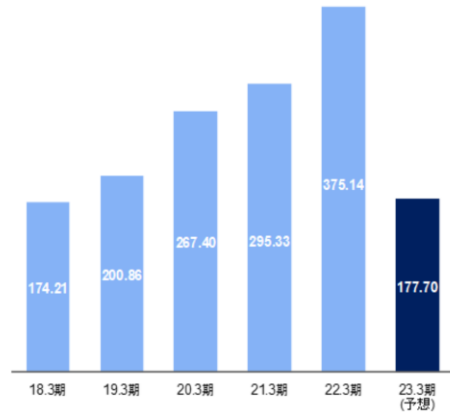
|      | 22.3期<br>(修正後予想) | 22.3期 | 23.3期<br>(予想) |
|------|------------------|-------|---------------|
| 基礎利益 | 4,200程度          | 4,371 | 2,200程度       |

1. 親会社株主に帰属する当期純利益



### 1株当たり当期純利益の推移

(円)



Copyright© JAPAN POST INSURANCE All Rights Reserved.

11

- 2023年3月期の業績予想についてご説明します。
- 2023年3月期の連結業績予想は、新しいかんぽ営業体制における日本郵便からのコンサルタントの受け入れおよび事業運営の定常化に伴う事業費の増加を主因として、今期決算から減少する見込みです。
- 当期純利益は710億円を見込んでおります。
- 12ページをご覧ください。

## 株主還元

### 中計期間における株主還元方針

- 今後の利益見通し、財務の健全性を考慮しつつ、株主配当については、1株当たり配当について、2025年度までの中期経営計画期間においては原則として減配を行わず、増配を目指す
- さらに、株主に対する柔軟な利益還元を図ること等を目的として、機動的な自己株式取得等を行うことで、総還元性向について中期平均40～50%を目指す

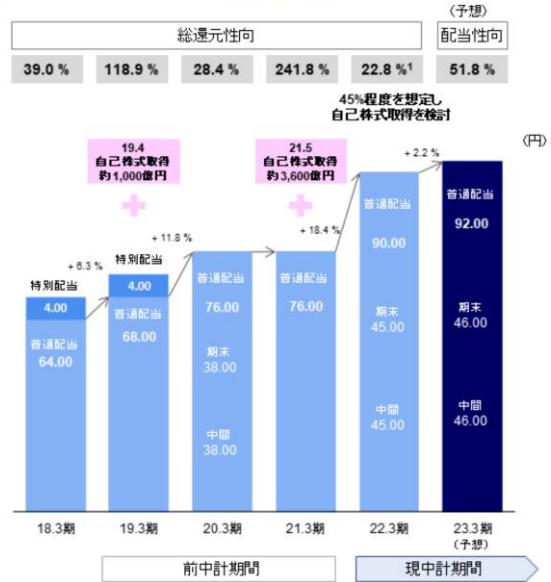
### 22年3月期の株主還元

- 22年3月期の配当については、当初予想通り1株当たり90円とする
- また、22年3月期の総還元性向は45%程度を想定しており、23年3月期の第2四半期以降、東京証券取引所の自己株式立会外買付取引（ToSTNeT-3）および東京証券取引所の立会市場における取引による自己株式取得を検討
- なお、自己株式取得に当たっては、引き続き、日本郵政株式会社による当社株式の議決権比率が2分の1以下に維持できるように検討しており、議決権比率の状況次第等では、自己株式取得額が当初想定している金額を大幅に下回る可能性

### 23年3月期の株主還元

- 23年3月期の配当については、1株当たり92円とする予定

### 株主配当の推移



- 最後に、株主還元についてご説明します。
- 中計期間における株主還元方針については、これまで原則として減配を行わず、増配を目指す方針をお示しておりましたが、本日、これに加えて、株主に対する柔軟な利益還元を図ること等を目的として、機動的な自己株式取得等を行うことで、総還元性向について中期平均40～50%を目指す方針を決定いたしました。
- この方針に基づき、22年3月期の総還元性向は45%程度を想定しており、2022年3月期の配当については、当初予想通り1株当たり90円とした上で、23年3月期の第2四半期以降、東京証券取引所の自己株式立会外買付取引（ToSTNeT-3）および東京証券取引所の立会市場における取引による自己株式取得を検討しております。
- なお、自己株式取得に当たっては、引き続き、日本郵政株式会社による当社株式の議決権比率が2分の1以下に維持できるように検討しており、議決権比率の状況次第等では、自己株式取得額が当初想定している金額を大幅に下回る可能性がございます。
- 2023年3月期の株主還元については、1株当たり配当92円とする予定です。
- 今後も、当社は、株主に対する利益の還元を経営上重要な施策の一つとして位置づけるとともに、経営の健全性を確保しつつ、安定的な株主への利益還元を行ってまいります。
- 以上で説明を終わります。

**APPENDIX**

---

## 連結貸借対照表（要約）

### 連結貸借対照表（要約）

（億円）

|         | 21.3末   | 22.3末   | 増減額      |
|---------|---------|---------|----------|
| 資産      | 701,729 | 671,747 | △ 29,981 |
| 現金及び預貯金 | 13,350  | 12,707  | △ 642    |
| 金銭の信託   | 41,892  | 45,219  | 3,326    |
| 有価証券    | 552,736 | 534,175 | △ 18,560 |
| 貸付金     | 49,640  | 42,519  | △ 7,121  |
| 有形固定資産  | 1,053   | 944     | △ 109    |
| 無形固定資産  | 1,134   | 936     | △ 198    |
| 繰延税金資産  | 9,041   | 10,053  | 1,012    |

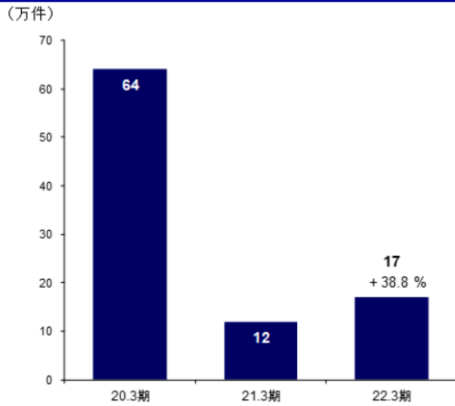
|                   | 21.3末   | 22.3末   | 増減額      |
|-------------------|---------|---------|----------|
| 負債                | 673,315 | 647,537 | △ 25,777 |
| 責任準備金             | 593,977 | 565,334 | △ 28,642 |
| うち危険準備金           | 16,113  | 16,909  | 796      |
| うち追加責任準備金         | 58,580  | 56,186  | △ 2,393  |
| 社債                | 3,000   | 3,000   | -        |
| 価格変動準備金           | 9,048   | 9,726   | 677      |
| 純資産               | 28,414  | 24,210  | △ 4,204  |
| 株主資本合計            | 18,060  | 15,445  | △ 2,615  |
| 資本金               | 5,000   | 5,000   | -        |
| 資本剰余金             | 4,050   | 4,050   | -        |
| 利益剰余金             | 9,013   | 6,398   | △ 2,615  |
| 自己株式 <sup>1</sup> | △ 3     | △ 3     | 0        |
| その他の包括利益<br>累計額合計 | 10,354  | 8,765   | △ 1,588  |

注: 主な勘定科目を掲載

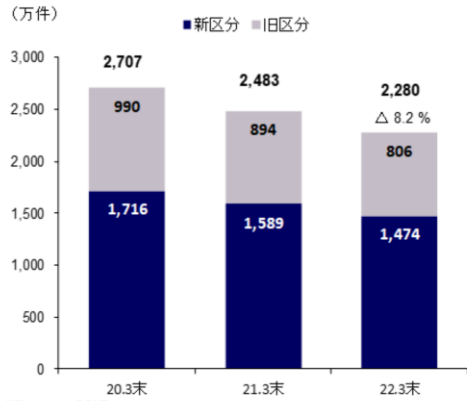
1. 2021年8月20日に自己株式を消却

# 契約の推移

新契約件数（個人保険）の推移



保有契約件数（個人保険）の推移



注1: 20.3期および21.3期の実績は2019年7月中旬以降の積極的な営業活動の自粛および2020年1月～3月の業務停止による影響を含む

注2: 「新区分」は、当社が引き受けた個人保険を示し、「旧区分」は、当社が独立行政法人郵便貯金簡易生命保険管理・郵便局ネットワーク支援機構から受再している簡易生命保険契約（保険）を示す

解約・失効件数（個人保険）の推移

|    | 20.3期 | 21.3期 | 22.3期 |
|----|-------|-------|-------|
| 通期 | 90    | 51    | 50    |

(万件)

注: 「新区分」および「旧区分」を合算した件数



# 契約の内訳

## 新契約の内訳

(万件)

|                       | 21.3期 |        | 22.3期 |        |
|-----------------------|-------|--------|-------|--------|
|                       | 件数    | 占率     | 件数    | 占率     |
| 個人保険                  | 12    | 100.0% | 17    | 100.0% |
| 養老                    | 9     | 73.1%  | 13    | 76.9%  |
| 普通養老                  | 6     | 53.3%  | 9     | 55.9%  |
| 普通養老<br>(引受基準<br>緩和型) | 0     | 1.2%   | 0     | 1.6%   |
| 特別養老                  | 2     | 18.6%  | 3     | 19.4%  |
| 終身                    | 1     | 9.8%   | 1     | 10.5%  |
| 普通終身<br>(定額型)         | 0     | 2.2%   | 0     | 2.4%   |
| 普通終身<br>(引受基準<br>緩和型) | 0     | 0.5%   | 0     | 0.7%   |
| 普通終身<br>(倍型)          | 0     | 5.4%   | 0     | 5.5%   |
| 特別終身                  | 0     | 1.7%   | 0     | 2.0%   |
| 学資                    | 2     | 17.0%  | 2     | 11.7%  |
| その他                   | 0     | 0.1%   | 0     | 0.8%   |

## 保有契約の内訳

(万件)

|                       | 21.3末 |        | 22.3末 |        |
|-----------------------|-------|--------|-------|--------|
|                       | 件数    | 占率     | 件数    | 占率     |
| 個人保険                  | 2,483 | 100.0% | 2,280 | 100.0% |
| 養老                    | 906   | 36.5%  | 785   | 34.4%  |
| 普通養老                  | 582   | 23.5%  | 509   | 22.3%  |
| 普通養老<br>(引受基準<br>緩和型) | 3     | 0.1%   | 3     | 0.1%   |
| 特別養老                  | 318   | 12.8%  | 271   | 11.9%  |
| 終身                    | 1,206 | 48.6%  | 1,156 | 50.7%  |
| 普通終身<br>(定額型)         | 372   | 15.0%  | 352   | 15.5%  |
| 普通終身<br>(引受基準<br>緩和型) | 5     | 0.2%   | 5     | 0.2%   |
| 普通終身<br>(倍型)          | 262   | 10.6%  | 252   | 11.1%  |
| 特別終身                  | 565   | 22.8%  | 545   | 23.9%  |
| 学資                    | 357   | 14.4%  | 325   | 14.3%  |
| その他                   | 12    | 0.5%   | 12    | 0.6%   |

注1: 主な商品を掲載

注2: 保有契約は簡易生命保険契約の保険を含む

注3: 21.3期の実績は2019年7月中旬以降の積極的な営業活動の自粛による影響を含む



## 新契約年換算保険料の四半期推移

### 新契約年換算保険料（個人保険）の推移

(億円)

|    | 19.3期 | 20.3期 | 21.3期 | 22.3期 |            |
|----|-------|-------|-------|-------|------------|
| 1Q | 946   | 935   | 60    | 116   | (+ 93.0 %) |
| 2Q | 898   | 380   | 90    | 112   | (+ 24.7 %) |
| 3Q | 891   | 122   | 72    | 114   | (+ 57.7 %) |
| 4Q | 776   | 30    | 83    | 117   | (+ 41.8 %) |
| 合計 | 3,513 | 1,469 | 306   | 461   | (+ 50.7 %) |

### 新契約年換算保険料（第三分野）の推移

(億円)

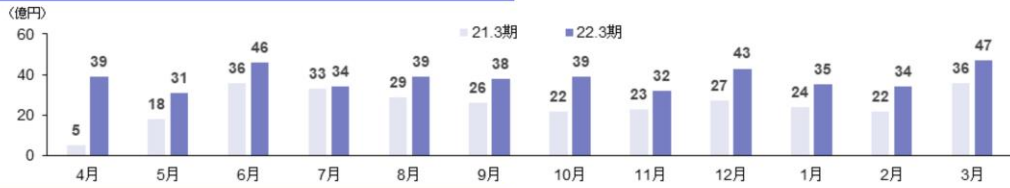
|    | 19.3期 | 20.3期 | 21.3期 | 22.3期 |            |
|----|-------|-------|-------|-------|------------|
| 1Q | 170   | 166   | 2     | 4     | (+ 72.8 %) |
| 2Q | 160   | 44    | 4     | 5     | (+ 27.3 %) |
| 3Q | 156   | 8     | 3     | 5     | (+ 67.2 %) |
| 4Q | 129   | 1     | 4     | 5     | (+ 38.1 %) |
| 合計 | 616   | 221   | 14    | 21    | (+ 49.0 %) |

注1：年換算(保険料とは、1回当たりの保険料について(保険料の支払方法に応じた係数)を乗じ、1年当たりの保険料に換算した金額(一時払契約等は、保険料を引換期間等で除した金額)  
第三分野は医療(保障・生前給付(保障等)に該当する部分。年換算(保険料(個人(保険)とは、個人(保険)に係る第三分野を含む)

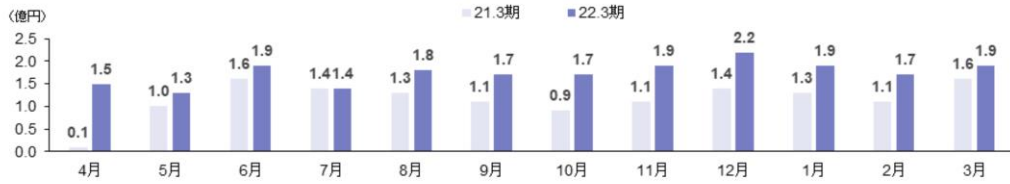
注2：20.3期および21.3期の実績は2019年7月中旬以降の積極的な営業活動の自粛および2020年1月～3月の業務停止による影響を含む。

## 新契約年換算保険料の月次推移

### 新契約年換算保険料（個人保険）の推移



### 新契約年換算保険料（第三分野）の推移



### 新契約年換算保険料（個人保険）に占める第三分野の推移

|       | 4月   | 5月   | 6月   | 7月   | 8月   | 9月   | 10月  | 11月  | 12月  | 1月   | 2月   | 3月   |
|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 21.3期 | 2.3% | 5.7% | 4.5% | 4.4% | 4.7% | 4.5% | 4.3% | 5.1% | 5.3% | 5.6% | 4.9% | 4.7% |
| 22.3期 | 3.9% | 4.4% | 4.3% | 4.3% | 4.8% | 4.6% | 4.5% | 6.1% | 5.2% | 5.6% | 5.1% | 4.1% |

注：21.3期の実績は積極的な営業活動の自由による影響を含む 1. 個人保険に係る第三分野のみを対象とする

## 利配収入およびキャピタル損益の状況

### 資産運用収益の内訳

(億円)

|            | 21.3期  | 22.3期  |
|------------|--------|--------|
| 資産運用収益     | 11,216 | 11,491 |
| 利息及び配当金等収入 | 10,046 | 9,858  |
| 預貯金利息      | 0      | 0      |
| 有価証券利息・配当金 | 8,984  | 8,945  |
| 公社債利息      | 7,332  | 7,157  |
| 株式配当金      | 82     | 108    |
| 外国証券利息配当金  | 1,158  | 1,272  |
| その他        | 410    | 406    |
| 貸付金利息      | 133    | 143    |
| 機構貸付利息     | 869    | 728    |
| 不動産賃貸料     | -      | -      |
| その他利息配当金   | 59     | 41     |

### キャピタル損益の内訳

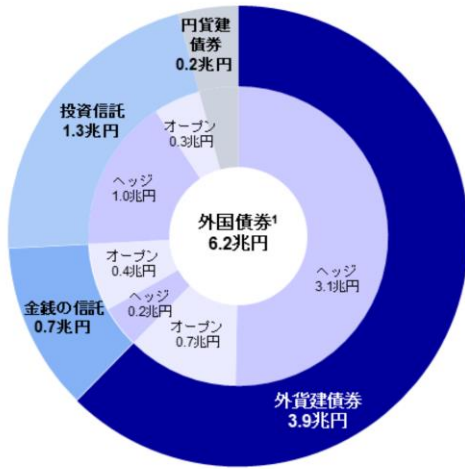
(億円)

|                          | 21.3期   | 22.3期   |
|--------------------------|---------|---------|
| キャピタル収益                  | 1,157   | 1,623   |
| 金銭の信託運用益                 | 875     | 1,145   |
| 有価証券売却益                  | 204     | 269     |
| 金融派生商品収益                 | -       | -       |
| 為替差益                     | 77      | 208     |
| その他キャピタル収益               | -       | -       |
| キャピタル費用                  | △ 1,328 | △ 1,640 |
| 金銭の信託運用損                 | -       | -       |
| 有価証券売却損                  | △ 327   | △ 511   |
| 有価証券評価損                  | -       | -       |
| 金融派生商品費用                 | △ 216   | △ 73    |
| 為替差損                     | -       | -       |
| その他キャピタル費用 <sup>1)</sup> | △ 784   | △ 1,055 |
| キャピタル損益                  | △ 171   | △ 17    |

1. 「その他キャピタル費用」には、金銭の信託に係るインカム・ゲインに相当する額を計上

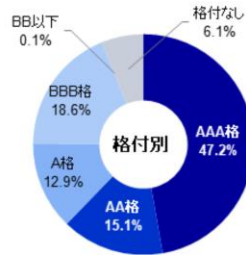
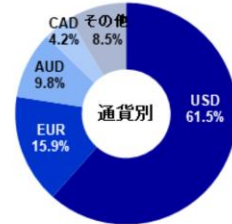
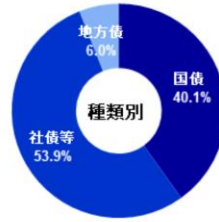
# 外国債券の投資状況 (2022年3月末)

## 外国債券の内訳



1. 収益追求資産における外国債券 (資料ページ参照)

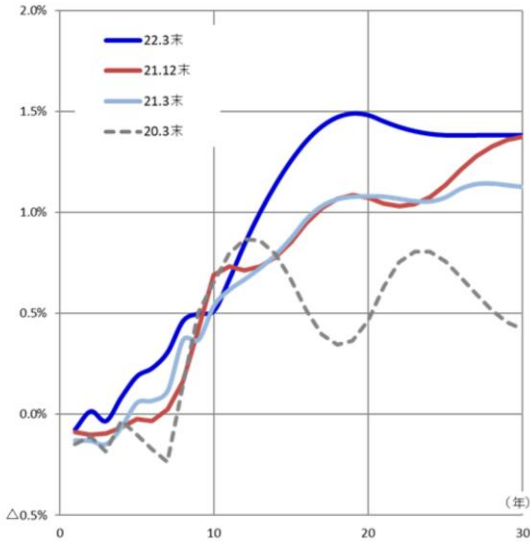
## 外貨建債券の投資状況



注1: 発行体が外国籍の外貨建債券のみを計上  
注2: Moody'sによる発行体格付け評価を記載

# 金利（EVの前提条件）<sup>1</sup>の変動

フォワード・レート（20.3-22.3）



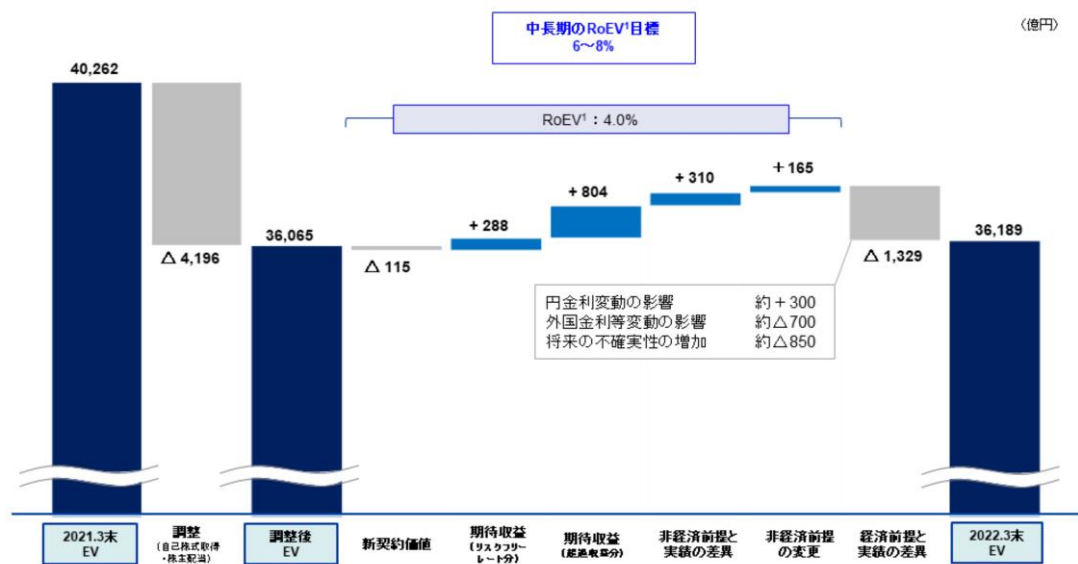
フォワード・レートの推移

|     | 20.3末   | 21.3末 <sup>㊦</sup> | 21.12末 <sup>㊧</sup> | 22.3末 <sup>㊨</sup> |
|-----|---------|--------------------|---------------------|--------------------|
| 10年 | 0.657 % | 0.539 %            | 0.688 %             | 0.513 %            |
| 20年 | 0.466 % | 1.080 %            | 1.074 %             | 1.480 %            |
| 30年 | 0.422 % | 1.126 %            | 1.374 %             | 1.382 %            |

注：EVおよび新契約価値の計算に用いた経済前提は以下のとおり  
 2021年3月末EV：㊦  
 2022年3月期の新契約価値：㊧  
 2022年3月末EV：㊨

1. 金利（EVの前提条件）は、財務省公表の国債の流通利回りを基に作成したフォワード・レートを使用

# EVの変動要因



1. EVの変動要因から「経済前提と実績の差異」を除いた値

注: 第三者の検証を受けていない試算値。第三者の検証を受けたEVの詳細については、2022年5月25日公表予定

## EVの感応度分析

### 経済前提に関する感応度

(億円)

| 前提条件                                           | EV     | 増減額<br>(増減率)          | 修正純資産  | 保有契約価値 |
|------------------------------------------------|--------|-----------------------|--------|--------|
| リスク・フリー・レート50bp上昇 <sup>1,2</sup>               | 35,718 | △ 471<br>(△ 1.3 %)    | 19,945 | 15,772 |
| 外国金利のリスク・フリー・レート<br>50bp上昇 <sup>1</sup>        | 35,302 | △ 887<br>(△ 2.5 %)    | 20,848 | 14,453 |
| リスク・フリー・レート50bp低下 <sup>1,2</sup>               | 36,206 | + 17<br>(+ 0.0 %)     | 21,541 | 14,664 |
| リスク・フリー・レート50bp低下<br>(低下後の下限なし) <sup>1,2</sup> | 36,044 | △ 144<br>(△ 0.4 %)    | 21,988 | 14,055 |
| 株式・不動産価値30%下落 <sup>1</sup>                     | 31,619 | △ 4,570<br>(△ 12.6 %) | 20,750 | 10,868 |

### 非経済前提に関する感応度

(億円)

| 前提条件                                                  | EV     | 増減額<br>(増減率)         | 修正純資産  | 保有契約価値 |
|-------------------------------------------------------|--------|----------------------|--------|--------|
| 将来の保有契約量が2022.3EVの計算上で想<br>定している水準の1.05倍 <sup>1</sup> | 36,734 | + 545<br>(+ 1.5 %)   | 20,927 | 15,807 |
| 事業費率(維持費)10%減少 <sup>1,2</sup>                         | 38,171 | + 1,981<br>(+ 5.5 %) | 20,927 | 17,243 |

1. 第三者の検証を受けていない試算値
2. 第三者の検証を受けたEVの詳細については、2022年5月26日公表予定

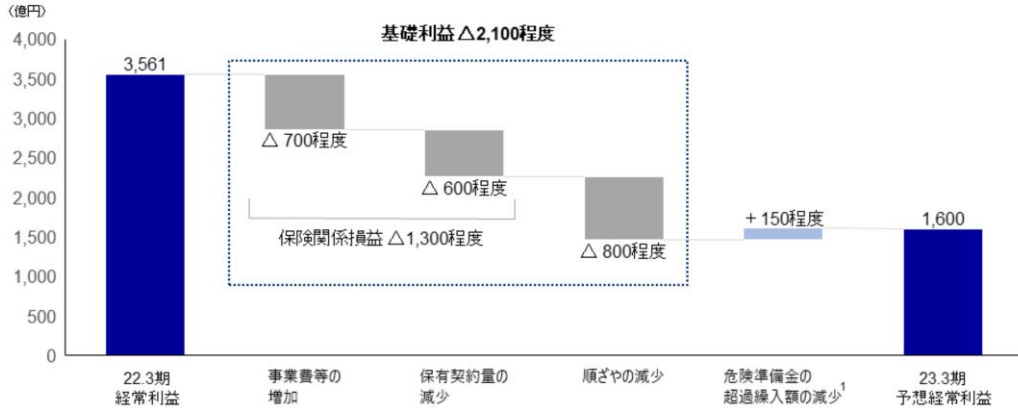


## 23年3月期 連結業績予想（経常利益の変動要因）

■ 23.3期の予想経常利益は以下の要因により1,600億円

【変動要因】

- ① 日本郵便からのコンサルタントの受け入れおよび事業運営の定常化に伴う事業費等の増加
- ② 保有契約量の減少
- ③ ヘッジコストの増加等に伴う順ざやの減少  
※ヘッジコストについては、その相当額の価格変動準備金を取り崩し、当期純利益への影響を中立化する会計処理を継続して実施
- ④ 危険準備金の超過繰入額<sup>1</sup>の減少



1. 旧区分において2021年3月末に危険準備金を財源とした追加責任準備金の積立てを実施。これに伴い、2021年3月末以降危険準備金の積立水準の回復を図るための基準額を超える繰入れを実施

## 新型コロナウイルス感染症に対する支払状況

- 新型コロナウイルス感染症に対する非常取扱いを継続
- 新型コロナウイルス感染症に対する支払が保険金等支払全体へ与える影響は僅少

### 保険金の非常取扱い等

- 新型コロナウイルス感染症の影響等による医療機関の事情により、次のような場合も入院保険金のお支払いの対象とする取扱いを実施
  - ・新型コロナウイルス感染症と診断（PCR検査等で陽性と判明）され、自宅や都道府県が用意した宿泊施設等において療養した場合
  - ・新型コロナウイルス感染症以外のご病気やけがにより、入院による治療が必要であったにもかかわらず入院できなかった場合、または当初の予定より早い退院を余儀なくされた場合
- 新型コロナウイルス感染症によりお亡くなりになられた場合、死亡保険金に加えて「保険金の倍額支払」の対象とする取扱いを実施
- 請求時等の必要書類の一部省略

### 新型コロナウイルス感染症に対する支払状況

|                    | 20.3期         | 21.3期                  | 22.3期                    | 累計                       |
|--------------------|---------------|------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 死亡保険金 <sup>1</sup> | —             | 49億8,981万円<br>(1,456件) | 133億1,457万円<br>(3,807件)  | 183億0,438万円<br>(5,263件)  |
| 入院保険金              | 74万円<br>(15件) | 8億2,457万円<br>(14,023件) | 54億6,951万円<br>(110,562件) | 62億9,482万円<br>(124,600件) |

### (参考) 保険金等支払全体の状況

|                     | 20.3期  | 21.3期  | 22.3期  |
|---------------------|--------|--------|--------|
| 保険金等支払 <sup>2</sup> | 約5.3兆円 | 約5.1兆円 | 約4.9兆円 |

1. 倍額支払を含む
2. 保険金・年金・給付金の合計。ただし、保険金には独立行政法人 郵便貯金簡易生命保険管理・郵便局ネットワーク支援機構における解約還付金等を含む

## 新旧区別 損益計算書（単体）

（億円）

|                        | 18.3期  |        | 19.3期  |        | 20.3期  |        | 21.3期  |        | 22.3期  |        |
|------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
|                        | 新区分    | 旧区分    | 新区分    | 旧区分    | 新区分    | 旧区分    | 新区分    | 旧区分    | 新区分    | 旧区分    |
| 経常収益 <sup>1</sup>      | 39,388 | 54,892 | 38,147 | 43,744 | 35,826 | 36,586 | 35,918 | 31,946 | 34,621 | 29,921 |
| 保険料等収入                 | 34,812 | 7,552  | 33,695 | 5,903  | 27,863 | 4,591  | 23,337 | 3,641  | 21,321 | 2,868  |
| 資産運用収益 <sup>1</sup>    | 4,546  | 8,303  | 4,401  | 7,643  | 4,412  | 6,965  | 4,484  | 6,736  | 4,606  | 6,886  |
| その他経常収益 <sup>1</sup>   | 30     | 39,037 | 49     | 30,198 | 3,549  | 25,030 | 8,097  | 21,568 | 8,693  | 20,166 |
| 経常費用 <sup>1</sup>      | 37,671 | 53,522 | 36,635 | 42,604 | 33,882 | 35,661 | 33,293 | 31,122 | 32,153 | 28,832 |
| 保険金等支払金                | 17,656 | 51,243 | 28,379 | 40,309 | 28,420 | 33,493 | 29,254 | 29,406 | 28,317 | 27,175 |
| 責任準備金等繰入額 <sup>1</sup> | 14,747 | -      | 2,725  | -      | 299    | -      | 0      | -      | 0      | -      |
| 資産運用費用 <sup>1</sup>    | 785    | 279    | 991    | 468    | 857    | 382    | 595    | 117    | 565    | 133    |
| 事業費                    | 3,728  | 1,599  | 3,762  | 1,421  | 3,363  | 1,358  | 2,754  | 1,266  | 2,630  | 1,215  |
| その他経常費用                | 752    | 398    | 777    | 404    | 942    | 427    | 689    | 332    | 640    | 307    |
| 経常利益                   | 1,717  | 1,370  | 1,511  | 1,139  | 1,943  | 924    | 2,625  | 824    | 2,467  | 1,089  |
| 特別損益 <sup>2</sup>      | △ 272  | △ 170  | 138    | 36     | 93     | 298    | △ 236  | △ 231  | △ 223  | △ 400  |
| 契約者配当準備金繰入額            | 216    | 961    | 196    | 921    | 154    | 937    | 187    | 467    | 182    | 548    |
| 税引前当期純利益               | 1,229  | 238    | 1,453  | 255    | 1,882  | 285    | 2,202  | 126    | 2,061  | 140    |
| 法人税等合計                 | 354    | 69     | 411    | 87     | 549    | 107    | 611    | 60     | 573    | 49     |
| 当期純利益（又は当期純損失）         | 874    | 168    | 1,041  | 167    | 1,333  | 178    | 1,590  | 65     | 1,487  | 91     |

注：「旧区分」は簡易生命保険契約区分を源泉とする数値。「新区分」はかんぽ生命全体から「旧区分」を差し引いた数値

1. かんぽ生命全体から「旧区分」を差し引いた際に、「新区分」の実績がマイナスとなる場合、調整を実施していることから、「旧区分」と「新区分」の合計がかんぽ生命全体の数値と一致しない  
（例：22.3期は「資産運用収益」内の「為替差益」および「資産運用費用」内の「為替差損」に、それぞれ1億円を加算）

2. 特別損益には「価格変動準備金繰入額」、「価格変動準備金戻入額」を含む。

## 新旧区分別実績（単体）

|                           |     | 18.3期      | 19.3期      | 20.3期      | 21.3期      | 22.3期      |
|---------------------------|-----|------------|------------|------------|------------|------------|
| <b>総資産</b>                | 百万円 | 76,832,508 | 73,904,576 | 71,667,398 | 70,173,857 | 67,174,848 |
| 旧区分                       |     | 46,684,937 | 41,354,076 | 39,225,493 | 37,815,270 | 35,929,138 |
| 新区分                       |     | 30,147,570 | 32,550,500 | 32,441,904 | 32,358,586 | 31,245,710 |
| <b>保有契約件数</b>             | 千件  | 30,405     | 29,143     | 27,070     | 24,837     | 22,802     |
| 旧区分（保険）                   |     | 12,484     | 11,048     | 9,907      | 8,944      | 8,061      |
| 新区分（個人保険）                 |     | 17,921     | 18,095     | 17,163     | 15,893     | 14,740     |
| <b>新契約件数</b>              | 千件  | 1,739      | 1,711      | 644        | 124        | 173        |
| <b>消滅契約件数<sup>1</sup></b> | 千件  | 2,894      | 2,965      | 2,714      | 2,256      | 2,196      |
| 旧区分（保険）                   |     | 1,930      | 1,430      | 1,141      | 959        | 880        |
| 新区分（個人保険）                 |     | 963        | 1,534      | 1,572      | 1,296      | 1,316      |
| <b>危険準備金繰入額</b>           | 百万円 | △ 139,678  | △ 151,592  | △ 165,388  | △ 186,023  | 79,651     |
| 旧区分                       |     | △ 173,722  | △ 173,590  | △ 170,814  | △ 191,014  | 73,581     |
| 新区分                       |     | 34,043     | 21,997     | 5,425      | 4,991      | 6,069      |
| <b>償格変動準備金繰入額</b>         | 百万円 | 128,031    | △ 19,251   | △ 39,152   | 46,477     | 67,789     |
| 旧区分                       |     | 17,090     | △ 3,686    | △ 29,845   | 23,121     | 40,045     |
| 新区分                       |     | 110,940    | △ 15,564   | △ 9,306    | 23,355     | 27,743     |
| <b>追加責任準備金繰入額</b>         | 百万円 | △ 30,648   | △ 50,292   | △ 49,750   | 27,652     | △ 239,366  |
| 旧区分                       |     | △ 47,674   | △ 46,698   | △ 46,396   | 30,553     | △ 236,996  |
| 新区分                       |     | 17,025     | △ 3,594    | △ 3,354    | △ 2,901    | △ 2,369    |

注：「旧区分」は簡易生命（解除契約区分を源泉とする数値、「新区分」はかんぽ生命全体から「旧区分」を差し引いた数値

1. 「消滅契約件数」は、死亡、満期、解約、失効の合計

## 主要業績の推移（連結）

|                   | (億円)    |                  |         |                    |                    |
|-------------------|---------|------------------|---------|--------------------|--------------------|
|                   | 18.3期   | 19.3期            | 20.3期   | 21.3期              | 22.3期              |
| 保険料等収入            | 42,364  | 39,599           | 32,455  | 26,979             | 24,189             |
| 事業費等 <sup>1</sup> | 6,476   | 6,368            | 6,094   | 5,035              | 4,790              |
| 経常利益              | 3,092   | 2,648            | 2,866   | 3,457              | 3,561              |
| 契約者配当準備金繰入額       | 1,177   | 1,118            | 1,092   | 654                | 731                |
| 当期純利益             | 1,044   | 1,204            | 1,506   | 1,661              | 1,580              |
| 純資産               | 20,031  | 21,351           | 19,283  | 28,414             | 24,210             |
| 総資産               | 768,312 | 739,050          | 716,647 | 701,729            | 671,747            |
| 自己資本利益率（ROE）      | 5.4%    | 5.8%             | 7.4%    | 7.0%               | 6.0%               |
| RoEV <sup>2</sup> | 9.9%    | 8.6%             | △2.8%   | 5.0%               | 4.0%               |
| 株主配当              | 408     | 432              | 427     | 427                | 359                |
| 自己株式取得額           | -       | 999 <sup>3</sup> | -       | 3,588 <sup>4</sup> | -                  |
| 総還元性向             | 39.0%   | 118.9%           | 28.4%   | 241.8%             | 22.8% <sup>5</sup> |
| EV                | 37,433  | 39,257           | 33,242  | 40,262             | 36,189             |
| 新契約価値             | 2,267   | 2,238            | 606     | △127               | △115               |
| 基礎利益（単体）          | 3,861   | 3,771            | 4,006   | 4,219              | 4,371              |
| 保険関係損益            | 3,203   | 3,187            | 3,201   | 3,456              | 2,964              |
| 順ざや（利差益）          | 658     | 584              | 804     | 763                | 1,407              |

1. 事業費とその他経費費用の合計
2. EVの変動要因から「経済前提と実績の差異」を除いた値
3. 2019年4月に実施
4. 2021年5月に実施
5. 2023年3月期第2四半期以降の実施を検討している自己株式取得前の数値

<免責事項>

本資料は、当社およびその連結子会社の企業情報等の提供のために作成されたものであり、国内外を問わず、日本郵政グループ各社の発行する株式その他の有価証券への勧誘を構成するものではありません。

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づいており、将来の業績は、経営環境に関する前提条件の変化等に伴い、予想と異なる可能性があることにご留意ください。